

今日は「私の旅行記」についてお話します。旅行の場所は静岡です。

字幕をオンにして見てください。旅行の話を楽しみながら、日本語と漢字と一緒に学べます。

それでは、まず「三島の大きな吊り橋」から始めましょう！

1.三島の大きな吊り橋

旅行の一日目の朝です。私はわくわくして、いつもより早く起きました。

窓の外は良い天気でした。お母さんは私の服装を見て、「上着は持った？」と聞きました。

お父さんは新聞を読みながら、「新幹線の時間は大丈夫か」と私に確認しました。

朝ご飯はパンと卵でした。家族みんなで食卓を囲み、今日の予定を話しました。

私はスマホで電車の時間をもう一度確かめました。忘れ物がないか確認しました。

私たちは家の戸じまりをして、駅まで歩いて向かいました。旅行が始まる、と思いました。

東京駅はとても広かったです。たくさんの人が歩いていました。私たちは新幹線に乗りました。

新幹線の席は窓の近くでした。だんだん景色が変わります。ビルが少なくなりました。

お父さんは窓の外を見ながら、「もうすぐ静岡県だ」とうれしそうに言いました。

1時間くらいで三島駅に着きました。空気がとてもさわやかに感じました。

駅の前からバスに乗ります。私はスマホで行き方を調べて、お父さんが運転手さんに聞きました。

バスは山道を走りました。カーブがたくさんありました。お母さんは少し心配そうでした。

バスを降りると、目の前にとても大きな吊り橋が見えました。「わあ、大きい」と声が出ました。

これが三島スカイウォークです。日本で一番長い、人が渡れる吊り橋だと聞きました。

私たちはチケットを買いました。お父さんは吊り橋の作りをじっと見て、感心していました。

さあ、橋を渡ります。橋は少しだけゆれました。お母さんは私の腕をつかみました。

「大丈夫かしら」とお母さんが小さな声で言いました。私は「大丈夫だよ」と答えました。

橋の真ん中まで来ました。遠くに海が見えました。とてもすばらしい景色でした。

予定では、ここから富士山が見えるはずでした。でも、今日は雲が多くてよく見えません。

「少し残念だね」と私が言うと、「雲もきれいだよ」とお父さんがやさしい声で言いました。

そのとき、雲が少し動きました。雲の間から富士山のとっぺんが少しだけ見えました。

「見えた」とみんなで喜びました。私たちはすぐに写真を撮りました。とてもうれしい気持ちでした。

橋を渡った先にはお店がありました。私たちはカフェで少し休けいをすることにしました。

私はソフトクリームを食べました。お母さんは温かいお茶を飲んで、「ほっとする」と言いました。

お父さんはパンフレットを見て、「この橋はすごい技術だ」と何度も言っていました。

私たちはバスに乗って、三島駅まで戻りました。そこから電車で熱海へ向かいます。

熱海の宿に着いたのは夕方でした。和室の部屋でした。畳のにおいがしました。

私たちは荷物を置きました。少し休けいしてから、夕食の場所へ行きました。

夕食は魚の料理でした。お刺身はとても新鮮でした。お母さんは喜んでいました。

お父さんは静岡のお酒を注文しました。おいしそうにお酒を飲んでいました。

食事のあと、温泉に入りました。大きなお風呂でした。体の疲れがとれました。

部屋に戻ってから、私は今日撮った写真を見ました。家族みんなで写真を見ました。

明日は美術館に行く予定です。お父さんは「楽しみだな」と言い、お母さんはうなずいていました。

私たちはあたたかい布団で休みました。一日目の夜が静かに終わりました。

2.熱海の丘の美術館

旅行の二日目の朝です。鳥の声で目が覚めました。窓から朝日が入ってきます。

お母さんはもう起きていました。「よく眠れた？」と私に聞きました。私も「はい」と答えました。

お父さんは部屋の窓を開けました。海の上の空気が気持ちいい、と、うれしそうに言いました。

私たちは朝ご飯を食べました。アジの干物とみそ汁です。静岡の名物だと聞きました。

食事のあと、今日の予定をみんなで確認しました。午前中は美術館に行きます。

私はスマホでバスの時間を調べました。「9時半のバスに乗りましょう」と提案しました。

私たちは出かける準備をしました。お母さんは私の持ち物を見て、「ハンカチは持った？」と聞きました。

宿を出て、バス停まで歩きます。坂道がとても多かったです。お母さんのペースで歩きました。

バス停には数人が並んでいました。バスは時間通りに来ました。私たちはバスに乗りました。

バスはどんどん坂を上ります。窓から見える景色がだんだん高くなりました。

10分くらいで美術館に着きました。とても大きくて、きれいな建物でした。空も広いです。

「すごい場所ね」とお母さんが感心したように言いました。お父さんも、うん、とうなずきました。

入り口からエスカレーターに乗りました。とても長くて、暗い場所を上っていきます。

天井の色が七色に変わります。私はスマホで動画を撮りました。とても幻想的な空間でした。

エスカレーターをいくつか上ると、やっと広い場所に出ました。大きな円形のホールでした。

ホールの天井は万華鏡のようです。光がキラキラしていました。私たちはしばらく上を見ました。

そこから展示室に入ります。たくさんの日本の美術品が静かに置かれていました。

古い時代のつぼや、きれいな着物が飾ってありました。お父さんが説明を読んでくれました。

奥の部屋に進むと、全体が金色の部屋がありました。「黄金の茶室」と書いてあります。

「まぶしいな」とお父さんは笑いながら言いました。本当に全部が金色でした。

私たちは広い場所に出ました。大きな窓から海が見えます。たくさんの光が入ってきました。

窓の外の景色は最高でした。青い空と青い海がどこまでも続いていました。

私たちは少し疲れたので、館内のカフェで休けいしました。ちょうど席が空いていました。

でも、注文の列が長かったです。「少し待ちそうだね」と私が言うとお父さんが待ちました。

お母さんと私は席に座りました。待っている間、窓の外の景色をずっと見ていました。

お父さんがコーヒーを持って戻ってきました。私たちもジュースを飲みました。

「きれいな物を見ると、心が落ち着くね」とお母さんが静かに言いました。

お父さんは美術館の作り方にとても感心していました。「すごい設計だ」と言いました。

休けいのあと、私たちはもう一度ゆっくりと展示を見て、美術館の出口へ向かいました。

お土産のお店がありました。きれいな絵はがきがたくさん売られていました。

お母さんは花の絵はがきを数枚買いました。友達に手紙を書くと言いました。

私たちは美術館に感謝して、外に出ました。空気がとてもおいしく感じました。

「さて、次はどうしようか」お父さんが私に聞きました。もうお昼の時間でした。

私はスマホの地図を見ました。次の目的地は来宮神社です。ここからバスで行けます。

私たちはバス停に向かいました。美術館で心が豊かになりました。次の場所もとても楽しみです。

3.来宮神社の大きな木

美術館の前からバスに乗りました。熱海の市街地へ戻ります。お昼ご飯のお店を探します。

「何が食べたい？」とお父さんがお母さんに聞きました。お母さんは「魚がいいわ」と答えました。

私はスマホでお店を調べました。駅の近くに良さそうなお店を見つけました。そこへ行きました。

お店は少し混んでいました。でも、すぐに席に座れました。私たちは海鮮丼を注文しました。

新鮮な魚がたくさん乗っていて、とてもおいしかったです。家族みんな、無言で食べました。

お腹がいっぱいになりました。休けいしてから、次の場所へ歩いて向かいました。

次の目的地は来宮神社です。熱海でとても有名な神社です。歩いて10分くらいで着きました。

神社の入り口は静かでした。鳥居の前で、私たちはおじぎを一回してから中に入りました。

緑の木がたくさんありました。空気がとても澄んでいます。心が洗われるようでした。

たくさんの竹が並んでいる道がありました。とてもきれいで、私は何枚も写真を撮りました。

少し歩くと、目の前にとても大きな木が見えました。これが有名な大楠です。

本当に大きくて、びっくりしました。木の幹は、大人が何人も手をつながないと届きません。

お父さんは説明の看板をじっくり読んでいました。「樹齢二千年以上」と書いてあります。

「二千年もここにいるのね」お母さんは木を見上げて、深く息を吸っていました。

私たちは木の周りをゆっくりと一周しました。木の生命力を感じました。

木の周りを一周すると、寿命が一年延びるという話があるそうです。

「本当かな」とお父さんは笑っていましたが、うれしそうに木の幹をていねいなでました。

神社の本殿でお参りをしました。お母さんは家族の健康をお願いした、と言いました。

境内にはおしゃれなカフェがありました。でも、たくさんの人が並んでいました。

「ここで休むのは難しいね」私が言うと、お母さんも「そうね」とうなずきました。

私たちは近くのベンチに座って少しだけ休けいをしました。お茶を飲んで、のどをうるおしました。

お父さんは「昔の人はすごい」と何度も言っていました。大きな木を守ってきたからです。

私はスマホで撮った写真を友達に送りました。「すごい木だね」とすぐに返事が来ました。

私たちはもう一度大楠にあいさつをして、神社を出ました。心がとても温かくなりました。

電車に乗って宿に戻ります。来宮駅から熱海駅までは一駅ですぐに着きました。

宿の部屋に帰ると、みんな少し疲れていました。畳の上に横になりました。

夕食まで時間があります。私たちは温泉に入ることにしました。体が温まります。

温泉から出ると、ちょうど夕食の時間になりました。今日の夕食も楽しみでした。

テーブルにはたくさんの料理が並んでいました。天ぷらやお鍋など、温かい料理です。

お父さんは今日も地元のお酒を注文しました。とても満足そうな顔でした。

食事のあと、部屋に戻りました。お母さんは今日買った絵はがきをテーブルに広げました。

「どの人にどれを送ろうか」楽しそうに悩んでいました。私はそれを見ていました。

お父さんと私は、明日の予定を確認しました。明日は伊豆高原へ行きます。

私は電車の時間を調べました。少し早起きする必要があることがわかりました。

「明日は晴れるといいね」お母さんが言いました。私たちは窓の外を見ました。

星が少しだけ見えました。今日一日の出来事を話して、私たちは布団に入りました。

4.伊豆の山と動物公園

旅行三日目の朝が来ました。今日は少し遠くへ出かけます。私たちはいつもより早く起きました。

朝ご飯をしっかり食べました。お母さんは「今日はたくさん歩くからね」と言いました。

私は今日の電車の時間をお父さんとお母さんに伝えました。「8時半には宿を出しましょう」

準備をして、熱海駅へ向かいました。駅までの道もうすっかり覚えました。

私たちは伊豆急行線という電車に乗りました。窓から海がよく見えました。

電車は海岸線の近くを走ります。景色がとてもきれいです。お父さんも窓の外を見ていました。

1時間くらい電車に乗りました。伊豆高原駅に着きました。空気がとても澄んでいました。

駅前からバスに乗ります。今日の最初の目的地は大室山という山です。

バスを降りると、目の前に面白い形の山がありました。おわんを置いたような形です。

「あれがそうなのね」とお母さんが指をさしました。山に木が生えていませんでした。

私たちはリフトに乗って、山の頂上まで登ります。リフトは二人乗りでした。

私はお母さんと乗りました。リフトはゆっくり動きます。でも、少しだけこわかったです。

頂上に着くと、すばらしい景色が広がっていました。周りが全部よく見えました。

遠くに海が見えて、近くに町が見えました。風がとても気持ちいいです。

山の頂上はくぼんでいました。昔の火山のあとだそうです。私たちは周りを歩きました。

「こんなにいい景色は初めてだ」お父さんはとても感動して、何度も何度も下を見ていました。

山の空気をたくさん吸いました。私たちはリフトで山を降りました。次は動物公園に行きます。

大室山のすぐ近くに伊豆シャボテン動物公園がありました。歩いて行けます。

中に入ると、たくさんの動物がいました。鳥が自由に歩き回っていて驚きました。

この公園で有名なのは、カピバラの温泉です。私たちはそれを見に行きました。

カピバラたちが温かい温泉に入っていました。とても気持ちよさそうな顔でした。

「かわいいわね」とお母さんはずっとカピバラを見ていました。私もたくさん写真を撮りました。

公園はとても広かったです。私たちは少し疲れました。ベンチで休けいをしました。

そろそろ駅に戻る時間です。バス停に行くと、たくさんの人が並んでいました。

予定していたバスは満員で乗ることができませんでした。「どうしよう」と心配しました。

私はすぐにスマホで調べました。「次のバスでも電車に間に合う」と二人に伝えました。

バスを待っている間に、近くのお店に入りました。めずらしいジュースを飲みました。

「これも旅の思い出だね」お父さんが笑って言いました。私たちはうなずきました。

次のバスには乗れました。伊豆高原駅から、また電車で熱海へ帰りました。

電車の中では三人とも少し眠ってしまいました。たくさん歩いて疲れました。

宿に着いたのは夕方でした。「ただいま」と心の中であいさつをしました。

最後の夜の夕食です。金目鯛の煮付けが出ました。とてもおいしかったです。

お父さんは宿の人と楽しそうに話していました。旅の話をしていました。

温泉にゆっくり入りました。三日間の疲れが、全部お湯に溶けるようでした。

部屋に戻ってから、私たちは荷物の整理を始めました。明日は家に帰る日です。

「あっという間だったわね」お母さんが少しさみしそうに言いました。私も同じ気持ちでした。

明日はお土産を買ってから新幹線に乗る予定です。最後の朝も楽しみです。

5.熱海温泉と最後の朝

旅行の最後の朝です。四日間の旅も今日で終わりです。少しだけさみしい気持ちでした。

窓の外はとても静かでした。私たちはゆっくりと起きて、最後の朝の準備をしました。

最後の朝ご飯です。一つ一つをていねいに味わって食べました。

食事のあと、部屋に戻って荷物をまとめました。お母さんは忘れ物がないか確認しました。

「ハンカチ、お財布、大丈夫？」お母さんが私たちに聞きました。私もカバンの中を見ました。

お父さんは宿の人にあいさつをしに行きました。「お世話になりました」と話しています。

私たちは宿を出ました。新幹線の時間まで、まだ少し時間があります。

「海岸を散歩しないか」お父さんが提案しました。私とお母さんも賛成しました。

私たちは海まで歩きました。朝の海岸は人が少なく、とても静かでした。

波の音がよく聞こえます。潮の香りがしました。私たちはゆっくりと歩きました。

「いい旅だったな」お父さんが海を見ながらしみじみと言いました。

お母さんはきれいな貝殻を一つ拾いました。旅の記念に持って帰ると言いました。

私たちは海岸の近くの商店街に行きました。家族へのお土産を買います。

アーケードの商店街です。たくさんのお店が並んでいて、とてもにぎやかでした。

お父さんは干物のお店に興味があるようでした。「このアジはおいしいぞ」

お母さんは和菓子のお店を見ていました。きれいな色のおまんじゅうが並んでいます。

私は新しいお菓子のお店を見つけました。チーズを使った有名なお菓子です。

「どれにしようか」と家族で相談しました。意見が少しだけ分かれしました。

「それぞれが欲しいものを買ったらどうかな」と私が言うと、みんなは賛成しました。

お父さんは干物を買いました。お母さんは温泉まんじゅうを、私はクッキーを買いました。

たくさん歩いたので、駅の近くのカフェで休けいしました。最後の休けいです。

私たちはジュースを飲みながら、この四日間の旅の話がたくさんしました。

「吊り橋はすごかったな」「美術館もきれいだったわね」楽しい思い出がたくさんです。

私はスマホの写真を見返しました。家族の写真がたくさんありました。笑顔の写真ばかりでした。

そろそろ時間になりました。私たちはカフェを出て、熱海駅の改札へ向かいました。

新幹線のホームで電車を待ちます。「また来たいね」と私が言うと、両親は笑顔でうなずきました。

新幹線がホームに入ってきました。私たちは順番に乗り込みました。熱海の町もお別れです。

新幹線は静かに走り出しました。窓から見える景色が、どんどん後ろへ流れていきます。

帰りの新幹線では、三人ともあまり話しませんでした。旅の余韻を感じていました。

東京駅に着きました。いつものにぎやかな駅です。家に帰ってきた、と思いました。

私たちは電車を乗りついで、家の近くの駅に着きました。夕方の空が広がっていました。

家のドアを開けると、いつものにおいがしました。「ただいま」と小さな声で言いました。

これで、私たちの静岡旅行は終わりました。疲れたけれど、本当に楽しい四日間でした。

夜、自分の部屋のベッドで旅の写真をもう一度見ました。すばらしい思い出ができました。

次の旅行はどこに行こうかな。また家族みんなで出かけたいと、心から思いました。

お疲れ様でした。最後まで見てくれてありがとうございました。

今日の動画はいかがでしたか？動画の感想や意見をぜひコメントで教えてください。

また、たくさん動画を作れますので、グッドボタンとチャンネル登録もよろしくお願いします。

それではまた別の動画でお会いしましょう。